



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社 成学社 上場取引所 東
コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 永井 博
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画部長（氏名） 山本 一之（TEL）06-6373-1571
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	7,066	8.1	167	41.8	159	47.3	72	△2.3
2025年3月期中間期	6,539	8.4	118	20.1	108	10.0	74	76.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 70百万円（△13.3%） 2025年3月期中間期 81百万円（91.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	13.09	—
2025年3月期中間期	13.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	9,367	3,877	41.4
2025年3月期	9,472	3,859	40.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 3,877百万円 2025年3月期 3,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	9.50	—	9.50	19.00
2026年3月期	—	11.00			
2026年3月期（予想）			—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,200	6.4	826	6.2	805	6.1	429	△6.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	5,876,000株	2025年3月期	5,876,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	328,102株	2025年3月期	328,102株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	5,547,898株	2025年3月期中間期	5,547,898株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育及び保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

当中間連結会計期間における売上高は7,066,947千円（前年同期比8.1%増）、営業利益は167,522千円（前年同期比41.8%増）、経常利益は159,900千円（前年同期比47.3%増）、特別損失として減損損失26,417千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は72,632千円（前年同期比2.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①教育関連事業

グループ在籍者数（注）について

部門	2024年9月末	2025年9月末	増減率
個別指導部門	18,905人	19,872人	+5.1%
クラス指導部門	6,345人	5,990人	△5.6%
保育部門	737人	743人	+0.8%
その他の指導部門	423人	551人	+30.3%
合計	26,410人	27,156人	+2.8%

（注）当社グループが運営する学習塾等に通う者に限り、フランチャイズ教室への通塾生は含んでおりません。

個別指導部門では、主力ブランド「個別指導学院フリーステップ」の強みである「点数アップと大学受験に強いフリーステップ」を継続的にアピールし他社との差異化が図れたこと、塾生募集のWEB広告を強化したこと等により塾生数は増加いたしました。クラス指導部門は、夏期講習の募集不調が響き、塾生数は減少いたしました。その他の指導部門は、日本語学校の新入生受入が好調だったことにより、学生数は増加いたしました。

教室展開について

部門	前期末	増加	減少	当期9月末
個別指導部門	230	2	4	228
クラス指導部門	70	0	0	70
保育部門	17	0	0	17
その他の指導部門	5	0	0	5
直営教場数	277	2	2	277
フランチャイズ教室数	50	2	1	51

(注) 複数の部門を開講している教室があるため、各部門の合計と直営教場数は一致いたしません。

当中間連結会計期間において、直営教室は、新規開校した1教室(東京都)、直営化した1教室(大阪府)が増加し、フランチャイズ化した2教室(東京都)が減少いたしました。

フランチャイズ教室は、フランチャイズ化した2教室が増加し、直営化した1教室が減少いたしました。

損益について

学習塾部門の売上高は、個別指導部門では塾生数の増加に加え夏期講習が好調だったこと、クラス指導部門では連結子会社化した株式会社一会塾が寄与したこと、オプション授業の申込みが好調だったことにより、前年同期から増加いたしました。保育部門では、公定価格改定に伴う給付金の増加等により、売上高は増加いたしました。その他の指導部門では、「開成アカデミー日本語学校」の学生数の増加、子会社において広告関連の受注が好調だったこと等により売上高は増加いたしました。

費用面では、従業員の処遇改善や塾生数増加に伴う人件費の増加、塾生募集広告の時期を前年より前倒したことによる広告宣伝費の増加等により、セグメント費用は増加いたしました。

この結果、売上高は7,015,567千円(前年同期比8.1%増)となり、増加した費用は売上高の伸びで吸収し、セグメント利益(営業利益)は185,083千円(前年同期比30.5%増)となりました。

②不動産賃貸事業

入居するテナントが減少したことから、売上高は20,045千円(前年同期比4.3%減)、セグメント利益(営業利益)は11,244千円(前年同期比1.9%減)となりました。

③飲食事業

価格改定を行ったこと等により、売上高は31,334千円(前年同期比1.5%増)、セグメント損失(営業損失)は3,413千円(前年同期はセグメント損失(営業損失)3,531千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から104,698千円(1.1%)減少し、9,367,805千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から75,223千円(2.0%)減少し、3,772,834千円となりました。これは主として現金及び預金が前連結会計年度に比べ148,691千円増加し、営業未収入金及び契約資産が前連結会計年度に比べ168,170千円、その他に含まれる未収入金が同50,277千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から29,474千円(0.5%)減少し、5,594,970千円となりました。これは主としてその他に含まれる繰延税金資産が前連結会計年度に比べ18,688千円、のれんが同11,857千円減少したことによります。

負債は前連結会計年度末から122,711千円(2.2%)減少し、5,490,743千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から402,026千円(11.6%)減少し、3,076,525千円となりました。これは主として前受金が前連結会計年度に比べ141,620千円増加し、その他に含まれる未払金が前連結会計年度に比べ468,343千円、買掛金が同62,438千円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から279,315千円(13.1%)増加し、2,414,217千円となりました。これは主として長期借入金が前連結会計年度に比べ278,594千円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末から18,013千円(0.5%)増加し、3,877,061千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ19,927千円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,316,094千円となり、前連結会計年度末に比べ148,691千円増加いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、29,374千円(前年同期比75,583千円の収入減)となりました。これは主に未払金の減少額493,716千円を計上した一方、減価償却費194,788千円、税金等調整前中間純利益142,391千円、前受金の増加額142,060千円、売上債権の減少額121,690千円をそれぞれ計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、175,802千円(前年同期比32,639千円の支出増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出158,720千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、296,333千円(前年同期比32,076千円の収入減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出446,952千円を計上した一方、長期借入れによる収入800,000千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2025年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,177,739	2,326,430
営業未収入金及び契約資産	1,239,750	1,071,580
商品	48,638	34,817
仕掛品	-	776
貯蔵品	8,465	9,946
その他	380,991	338,345
貸倒引当金	△7,527	△9,063
流動資産合計	3,848,057	3,772,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,787,171	4,873,855
減価償却累計額	△2,158,769	△2,233,838
建物及び構築物(純額)	2,628,402	2,640,017
土地	1,107,259	1,107,259
その他	1,018,015	1,022,674
減価償却累計額	△763,684	△773,174
その他(純額)	254,330	249,499
有形固定資産合計	3,989,991	3,996,776
無形固定資産		
のれん	148,405	136,547
その他	171,439	170,537
無形固定資産合計	319,844	307,085
投資その他の資産		
差入保証金	973,450	969,824
その他	341,158	321,284
投資その他の資産合計	1,314,609	1,291,109
固定資産合計	5,624,445	5,594,970
資産合計	9,472,503	9,367,805

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,794	79,356
1年内返済予定の長期借入金	808,508	882,961
未払法人税等	85,511	52,669
前受金	857,710	999,331
賞与引当金	206,154	245,357
その他	1,378,872	816,850
流動負債合計	3,478,552	3,076,525
固定負債		
長期借入金	1,470,359	1,748,953
退職給付に係る負債	9,408	9,374
資産除去債務	542,308	542,386
その他	112,825	113,503
固定負債合計	2,134,901	2,414,217
負債合計	5,613,454	5,490,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	313,457	313,457
利益剰余金	3,723,413	3,743,341
自己株式	△265,687	△265,687
株主資本合計	3,871,183	3,891,111
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△12,134	△14,049
その他の包括利益累計額合計	△12,134	△14,049
純資産合計	3,859,048	3,877,061
負債純資産合計	9,472,503	9,367,805

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	6,539,821	7,066,947
売上原価	5,319,854	5,679,344
売上総利益	1,219,967	1,387,603
販売費及び一般管理費	1,101,804	1,220,080
営業利益	118,162	167,522
営業外収益		
受取利息	254	689
受取手数料	4,278	4,181
その他	7,387	3,719
営業外収益合計	11,920	8,590
営業外費用		
支払利息	12,642	12,678
その他	8,913	3,534
営業外費用合計	21,556	16,212
経常利益	108,527	159,900
特別利益		
固定資産売却益	149	-
ゴルフ会員権売却益	161	-
事業譲渡益	2,363	8,909
特別利益合計	2,675	8,909
特別損失		
減損損失	2,517	26,417
特別損失合計	2,517	26,417
税金等調整前中間純利益	108,684	142,391
法人税、住民税及び事業税	22,103	52,637
法人税等調整額	12,259	17,121
法人税等合計	34,362	69,758
中間純利益	74,322	72,632
親会社株主に帰属する中間純利益	74,322	72,632

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	74,322	72,632
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,239	△1,914
その他の包括利益合計	7,239	△1,914
中間包括利益	81,561	70,718
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	81,561	70,718
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	108,684	142,391
減価償却費	177,764	194,788
減損損失	2,517	26,417
のれん償却額	9,395	13,932
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,131	1,653
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,504	39,202
支払利息	12,642	12,678
売上債権の増減額(△は増加)	209,845	121,690
仕入債務の増減額(△は減少)	△75,085	△62,345
前受金の増減額(△は減少)	163,959	142,060
未払金の増減額(△は減少)	△323,827	△493,716
その他	△83,174	△18,267
小計	237,358	120,486
利息の支払額	△12,885	△12,713
法人税等の支払額	△119,523	△87,683
その他	8	9,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,957	29,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,533	-
定期預金の払戻による収入	150,032	-
有形固定資産の取得による支出	△173,266	△158,720
無形固定資産の取得による支出	△20,508	△25,449
資産除去債務の履行による支出	△21,495	△7,688
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△65,672	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,499	-
事業譲受による支出	△2,863	△2,075
事業譲渡による収入	2,513	13,084
差入保証金の差入による支出	△19,681	△14,311
差入保証金の回収による収入	16,658	17,517
その他	3,155	1,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,162	△175,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,008,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△627,584	△446,952
配当金の支払額	△49,791	△52,589
その他の支出	△2,213	△4,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	328,410	296,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,044	△1,214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	296,250	148,691
現金及び現金同等物の期首残高	1,656,550	2,167,403
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,952,800	2,316,094

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	5,513,261	—	—	5,513,261	—	5,513,261
保育部門	673,131	—	—	673,131	—	673,131
その他の指導部門	301,608	—	—	301,608	—	301,608
飲食	—	—	30,885	30,885	—	30,885
顧客との契約から 生じる収益	6,488,001	—	30,885	6,518,886	—	6,518,886
その他の収益	—	20,935	—	20,935	—	20,935
外部顧客への売上高	6,488,001	20,935	30,885	6,539,821	—	6,539,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,234	10,391	—	11,625	△11,625	—
計	6,489,235	31,326	30,885	6,551,446	△11,625	6,539,821
セグメント利益又は 損失(△)	141,779	11,465	△3,531	149,713	△31,550	118,162

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,550千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において2,517千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「教育関連事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間より、株式会社一会塾の株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

また、「教育関連事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社一会塾が、株式会社ピグマリオン・アカデミアの株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間において159,021千円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
学習塾部門	5,896,274	—	—	5,896,274	—	5,896,274
保育部門	742,142	—	—	742,142	—	742,142
その他の指導部門	377,150	—	—	377,150	—	377,150
飲食	—	—	31,334	31,334	—	31,334
顧客との契約から 生じる収益	7,015,567	—	31,334	7,046,902	—	7,046,902
その他の収益	—	20,045	—	20,045	—	20,045
外部顧客への売上高	7,015,567	20,045	31,334	7,066,947	—	7,066,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,320	—	10,320	△10,320	—
計	7,015,567	30,366	31,334	7,077,268	△10,320	7,066,947
セグメント利益又は 損失(△)	185,083	11,244	△3,413	192,915	△25,392	167,522

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△25,392千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において26,417千円であります。